

庁議の概要

開催日 令和8年4月13日（月）

◎項目

- 1 未来を創る職員提案事業（ミライ箱）について【総合企画部】
- 2 高知県・高知市連携会議の議題案の提出について【総合企画部】
- 3 「県立高等学校教育改革検討委員会（仮称）」について【教育委員会】
- 4 第1四半期の重要な取り組み【各部局等】

◎内容

1 未来を創る職員提案事業（ミライ箱）について【総合企画部】

○総合企画部長

未来を創る職員提案事業（ミライ箱）で課題提案（各部局が抱える県政課題の解決に資する提案）のテーマ募集を行う。5月1日を提出期限とするので、各部局とも積極的な提案をお願いします。

課題提案のテーマを取りまとめた後、5月中旬から自由提案とあわせて職員提案の募集を開始する予定。

2 高知県・高知市連携会議の議題案の提出について【総合企画部】

○総合企画部長

県政の課題への対応を進めていくにあたり、高知市との連携は必要不可欠。本年度も、より一層連携を深めるため、知事と高知市長による「高知県・高知市連携会議」を9月8日に開催予定。また、それに先立ち、7月30日には副知事・副市長協議を非公開で開催予定。各部局におかれては、高知市の担当部局と積極的に協議のうえ、会議で取り上げるべき議題案の提出を6月12日までをお願いします。

3 「県立高等学校教育改革検討委員会（仮称）」について【教育委員会】

○教育長

今年度、県立高等学校教育改革検討委員会（仮称）を開催予定。令和7年11月に閣議決定された総合経済対策に高校教育改革のパイロットケースを創出するための財政支援が盛り込まれた。改革先導校の3類型に応じた事業計画を作成し、国に5月15日までに申請して採択されれば、最大約62億円の財政支援を受けられるようになっている。また、国からは本年2月に「高校教育改革に関する基本方針」が示されており、各都道府県はこれを踏まえて、教育委員会、知事部局、大学、産業界等が連携し、2040年に向けたネクストハイスクール構想を踏まえた高等学校教育改革実行計画を策定しなければならない。そのため、関係者を構成員とする庁内、庁外の検討委員会を開催したいと考えているので、部長等には、これら検討委員会と庁内検討会議への出席をお願いします。

4 第1四半期の重要な取り組み【各部局等】

〈主な協議の概要〉

○総合企画部長

令和9年度政府予算等に向け、政策提言を実施する。担当部局においても、継続的に必要な情報収集と提言内容のブラッシュアップをお願いする。

「共感と前進」の県政に資する官民連携の深化及び政策広報・広聴の充実・強化について。4月24日に包括協定締結企業向けに県事業の説明会を開催する。各部局から現状・課題、施策の内容、連携を依頼したい事項等について説明し、意見交換を実施予定。新たな分野での連携や既存の連携事業の深化につなげたいので、ご協力をお願いする。

○観光振興スポーツ部長

長期滞在につながる観光地域づくりの推進について。宿泊施設を中心に長期滞在できる地域づくりを目指し、中山間地域での分散型ホテルのさらなる推進に取り組む。

戦略的なセールスとプロモーションについて。3年目を迎えた「どっぷり高知旅キャンペーン」では、「よさこい高知文化祭2026」と連携した観光振興に取り組む。また、令和10年1月からNHK大河ドラマがジョン万次郎をテーマに放送されることが決定したので、それに向けた推進体制づくりなども協議していく。

○警察本部長

特殊詐欺等に対する効果的な犯罪抑止対策の推進について。2月末までの特殊詐欺被害は昨年より増加傾向で危機的状況。最近では、警察官かたりや副業・投資名目の手口が多い。これの対策として、警察庁では、特殊詐欺の疑いのある電話番号への発着信を画面上に警告表示したり、自動的な着信拒否の設定機能が付いた無料アプリを推奨している。皆さまからも広く周知を図っていただき、被害防止の機運醸成にご協力をお願いする。

少年の非行・被害防止対策の推進について。令和7年の少年非行数は270件で前年比62件増。喫煙の補導率が全国に比べて多く、再非行率は全国ワースト3位。関係業界、事業所等と連携して取り組んでいく。

○知事

非行少年の問題については、いじめ問題対策連絡協議会などでもテーマとして協議することを考えてもらいたい。